
クラッチ

目次

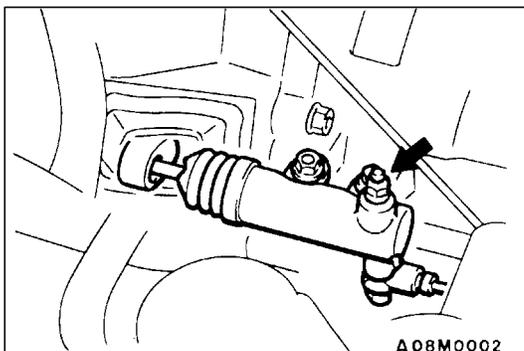
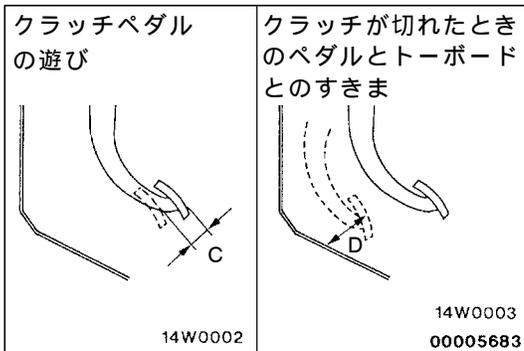
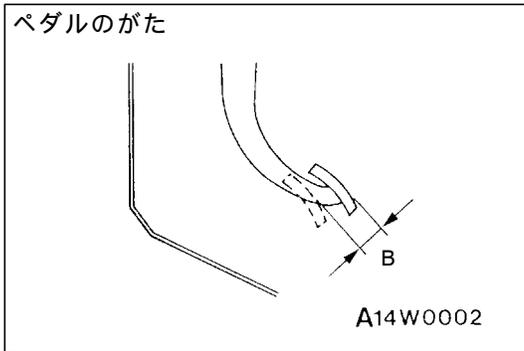
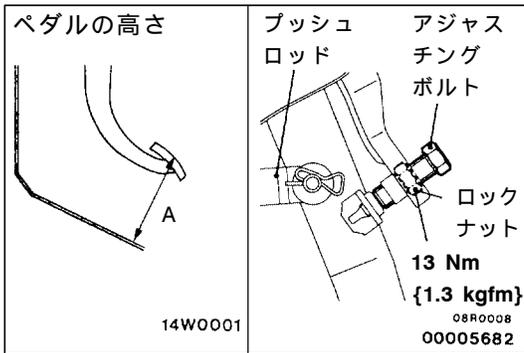
| | | | |
|------------------------|---|---------------------|---|
| 整備基準値 | 2 | クラッチペダル | 4 |
| 給油脂 | 2 | クラッチコントロール | 5 |
| 車上整備 | 3 | クラッチマスターシリンダー | 7 |
| 1. クラッチペダルの点検・調整 | 3 | | |
| 2. クラッチラインのエア抜き | 3 | | |

整備基準値

| 項目 | 標準値 |
|------------------------------|-----------|
| クラッチペダルの高さ mm | 163 ~ 166 |
| クラッチペダルのがた（クレビスピン部のがた） mm | 1 ~ 3 |
| クラッチペダルの遊び mm | 6 ~ 13 |
| クラッチが切れたときのペダルとトーボードとのすきま mm | 80以上 |

給油脂

| 項目 | 銘柄 | 容量 |
|------------------|------------------------------|----|
| クラッチフルード | 三菱純正ダイヤクイーンブレーキフルード スーパー4 | 適量 |
| プッシュロッドAss'y | ラバーグリース | |
| ブーツ | | |
| レリーズシリンダープッシュロッド | モリコートBR-2プラス | |



車上整備

1. クラッチペダルの点検・調整

- (1) クラッチペダルの下のカーペット類をめくる。
- (2) クラッチペダルの高さを測定する。

クラッチペダルの高さ
標準値 (A): 163 ~ 166 mm

- (3) クラッチペダルの高さが標準値を外れるときは、ロックナットを緩めアジャスチングボルト又はブッシュロッドでペダルの高さが標準値となるように調整する。
- (4) クラッチペダルのがたを調整する。

クラッチペダルのがた (クレビスピン部のがた)
標準値 (B): 1 ~ 3 mm

- (5) クラッチペダルのがたが標準値を外れるときは、ブッシュロッドで調整する。

注意

このときマスターシリンダーブッシュロッドを押し込まないこと。

- (6) ペダルの遊び及びクラッチが切れたときのトーボードとのすきまが標準値にあることを確認する。

クラッチペダルの遊び (含むクレビスピン部のがた)
標準値 (C): 6 ~ 13 mm

クラッチが切れたときのトーボードとのすきま
標準値 (D): 80 mm 以上

- (7) ペダルの遊び及びすきまが標準値を外れる場合は、油圧系統のエア抜きを行うか、マスターシリンダー又はクラッチ本体を点検する。

- (8) カーペット類を取付ける。

2. クラッチラインのエア抜き

指定クラッチフルード:

三菱純正ダイヤクイーンブレーキフルードスーパー4

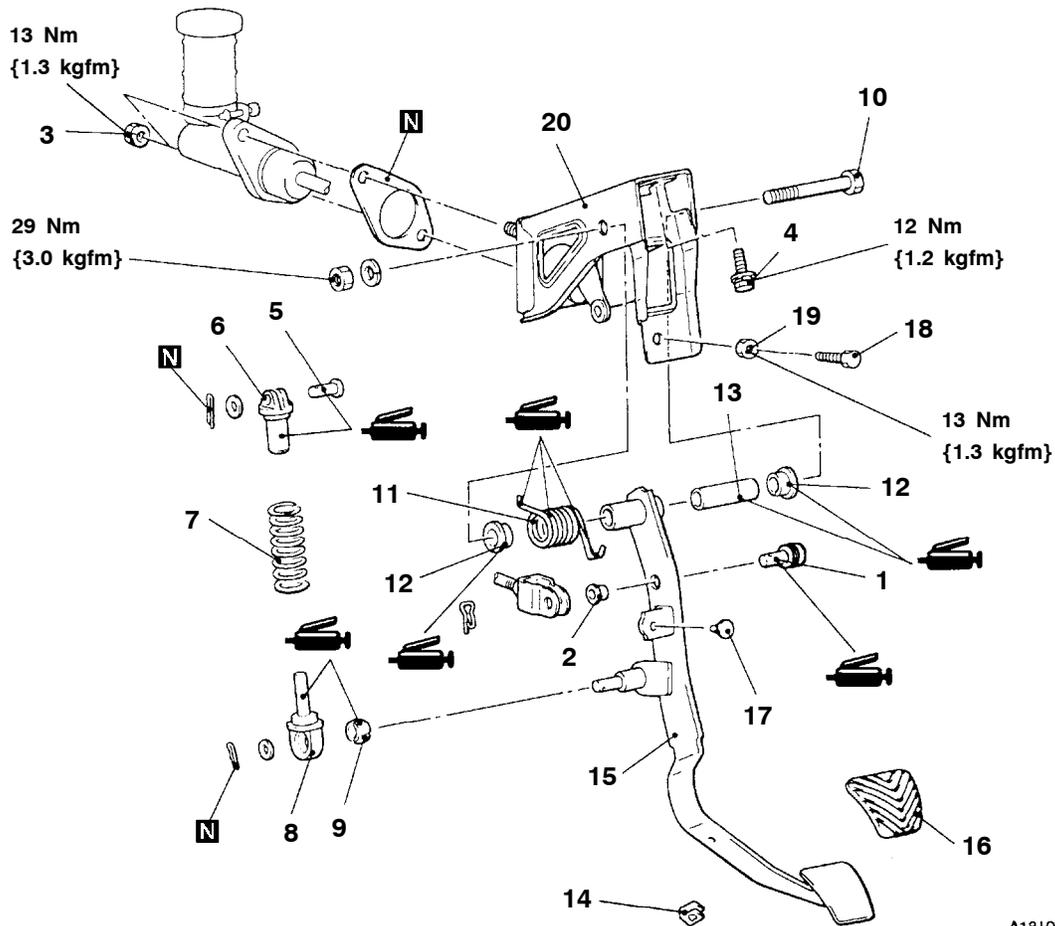
注意

クラッチフルードは指定銘柄品を使用し、他品との混入はしないこと。

クラッチペダル

取外し・取付け

取付け後の作業
クラッチペダルの調整 (P21-3参照)



A1810002

取外し手順

1. クレビスピンAss'y
2. プッシュ
3. クラッチマスターシリンダー取付け
ナット
4. マスターシリンダーメンバー取付け
ボルト
5. クレビスピン <6A13>
6. ロッドA <6A13>
7. ターンオーバースプリング <6A13>
8. ロッドB <6A13>
9. プッシュ <6A13>

10. ボルト
11. クラッチリターンスプリング
12. クラッチペダルプッシュ
13. パイプ
14. ストッパー
15. クラッチペダル
16. ペダルパッド
17. ストッパー
18. アジャスチングボルト
19. ロックナット
20. マスターシリンダーメンバーAss'y

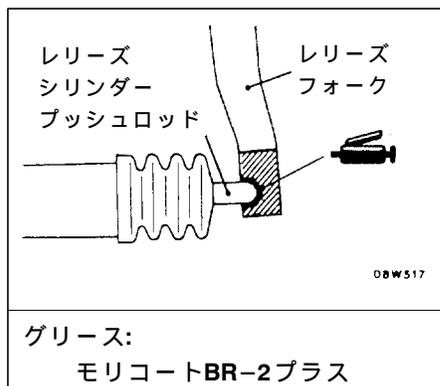
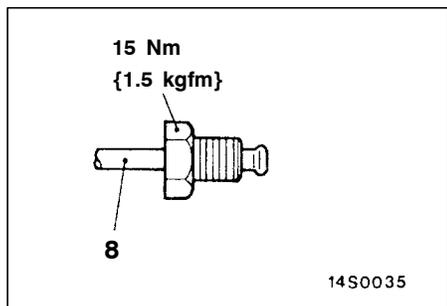
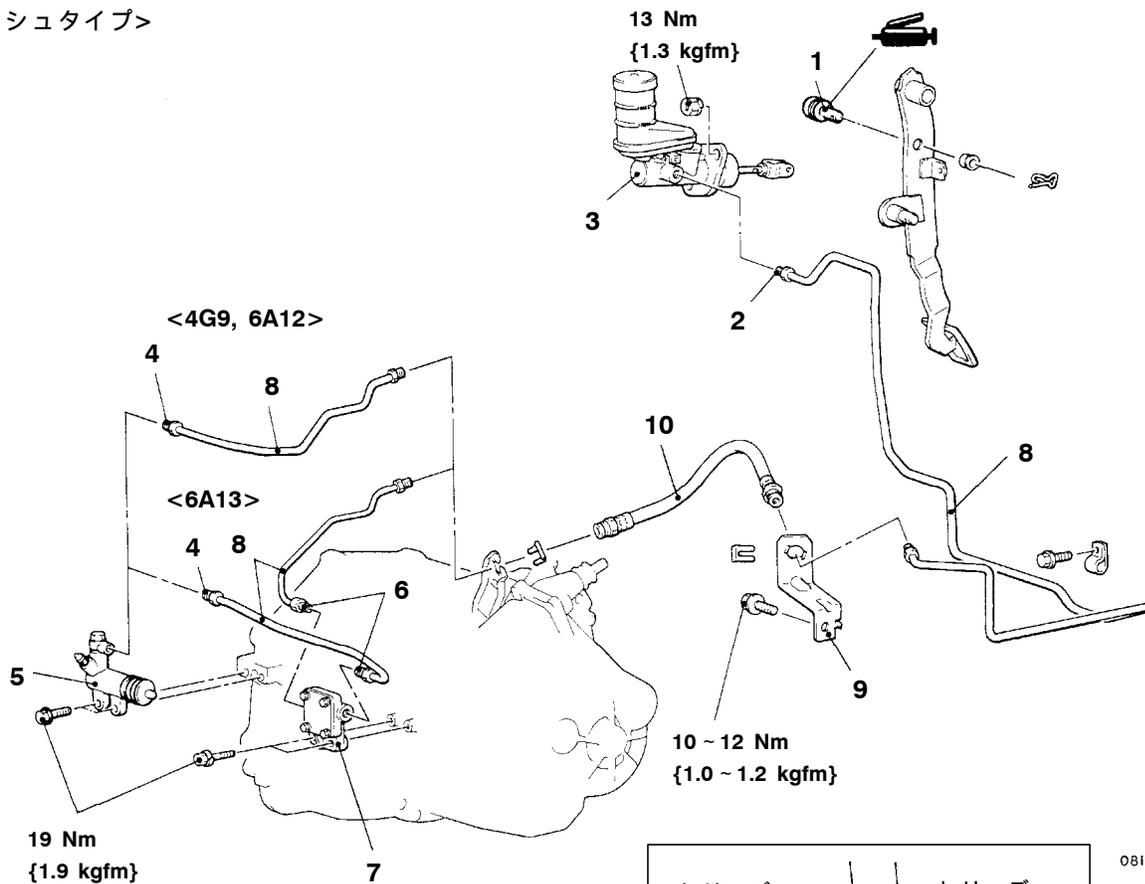
クラッチコントロール

取外し・取付け

取外し前の作業
クラッチフルードの抜取り

取付け後の作業
● クラッチフルードの注入
● クラッチラインのエア抜き (P21-3参照)
● クラッチペダルの調整 (P21-3参照)

<プッシュタイプ>



0810004

00005684

クラッチマスターシリンダーの取外し手順

1. クレビスピンAss'y
2. クラッチパイプの接続
3. クラッチマスターシリンダー

クラッチリリースシリンダーの取外し手順

4. クラッチパイプの接続
5. クラッチリリースシリンダー

クラッチダンパーAss'yの取外し手順

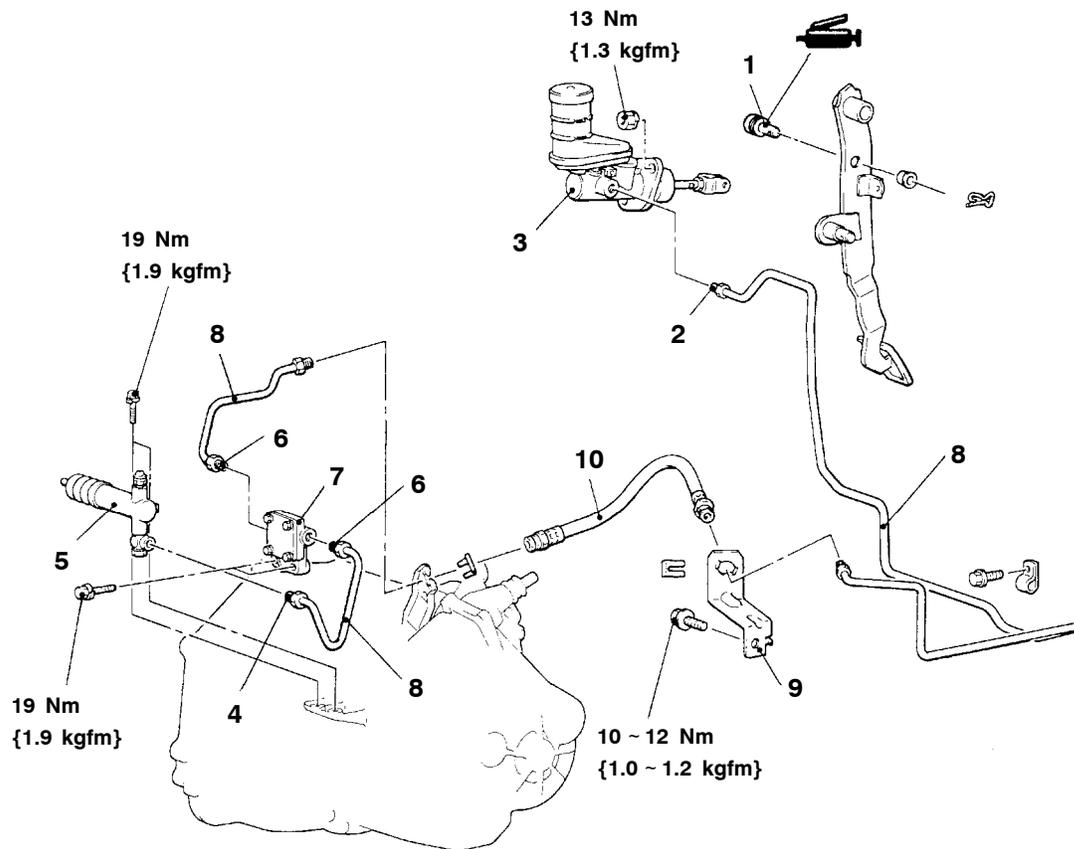
<6A13>

6. クラッチパイプの接続
7. クラッチダンパーAss'y

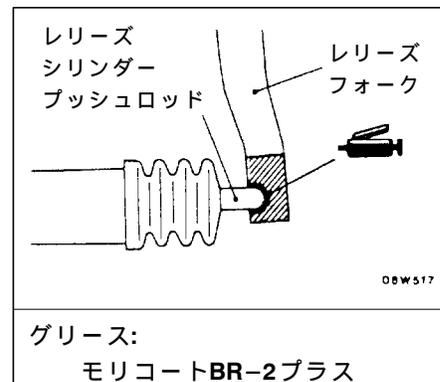
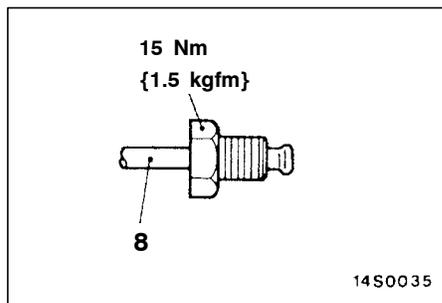
クラッチラインの取外し手順

8. クラッチパイプ
9. ブラケット
10. クラッチホース

<プルタイプ>



0810003



00005685

クラッチマスターシリンダーの取外し手順

1. クレビスピンAss'y
2. クラッチパイプの接続
3. クラッチマスターシリンダー

クラッチリリースシリンダーの取外し手順

4. クラッチパイプの接続
5. クラッチリリースシリンダー

クラッチダンパーAss'yの取外し手順

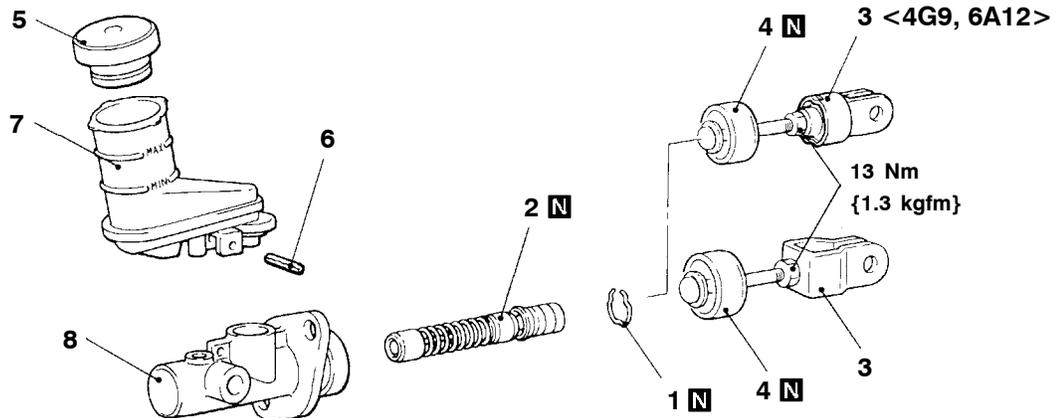
6. クラッチパイプの接続
7. クラッチダンパーAss'y

クラッチラインの取外し手順

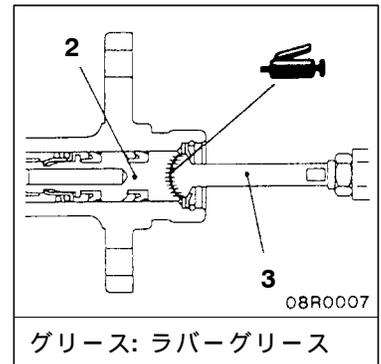
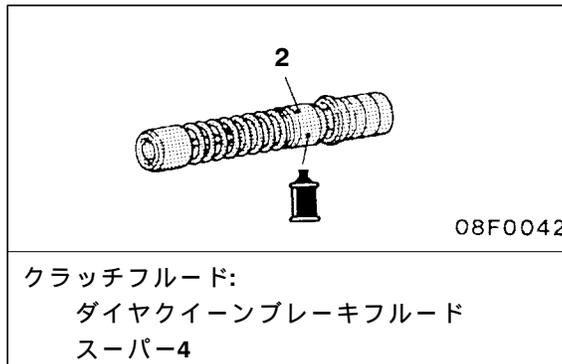
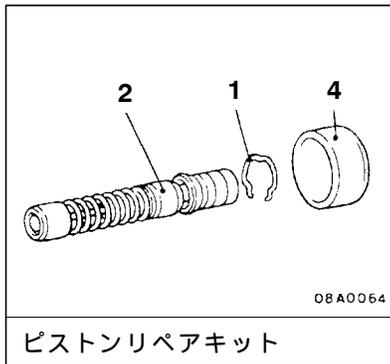
8. クラッチパイプ
9. ブラケット
10. クラッチホース

クラッチマスターシリンダー

分解・組立



08I0001



00005686

分解手順

1. ピストンストッパーリング
2. ピストンAss'y
- ▶A◀ 3. プッシュロッドAss'y
4. ブーツ
5. リザーバーキャップ

6. スプリングピン
7. リザーバータンク
8. マスターシリンダーボデー

注意

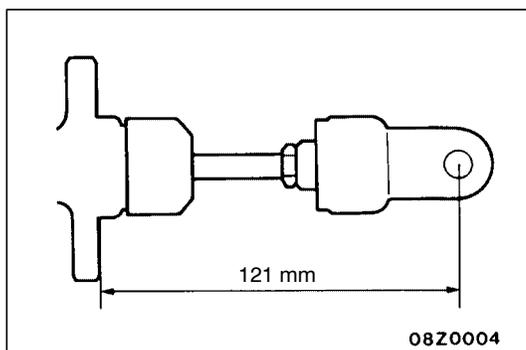
ピストンAss'yは分解してはならない。

組立の要点

- ▶A◀ プッシュロッドAss'yの取付け

備考

プッシュロッドAss'yの長さを図示寸法にセットして取付けると、クラッチペダルの調整が容易である。



< メモ >